

2023年12月期決算補足説明

および

資本コストや株価を意識した経営
の実現に向けた対応について

2024年2月14日
株式会社ニチリン
(証券コード5184)

目次

I. 2023年12月期決算

II. 2024年12月期業績予想

III. 設備投資、キャッシュフロー、株主還元

IV. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

I . 2023年12月期決算

1-1.2023年12月期業績概要

【経営成績等の概況】

国内自動車販売は、部品不足による生産調整があったものの、輸出が好調に推移

中国における日本車販売減少の影響があったものの、北米・アジアは比較的好調に推移

円安の影響により、増収増益幅が拡大

(百万円)	2022年度 実績	2023年度		前年比
		計画 (11月発表)	実績	
売上高	64,172	70,000	70,631	+ 10.1%
営業利益 (率)	7,678 (12.0%)	8,800 (12.6%)	9,620 (13.6%)	+ 25.3%
経常利益 (率)	8,452 (13.2%)	10,000 (14.3%)	10,548 (14.9%)	+ 24.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	4,578 (7.1%)	5,500 (7.9%)	5,915 (8.4%)	+ 29.2%

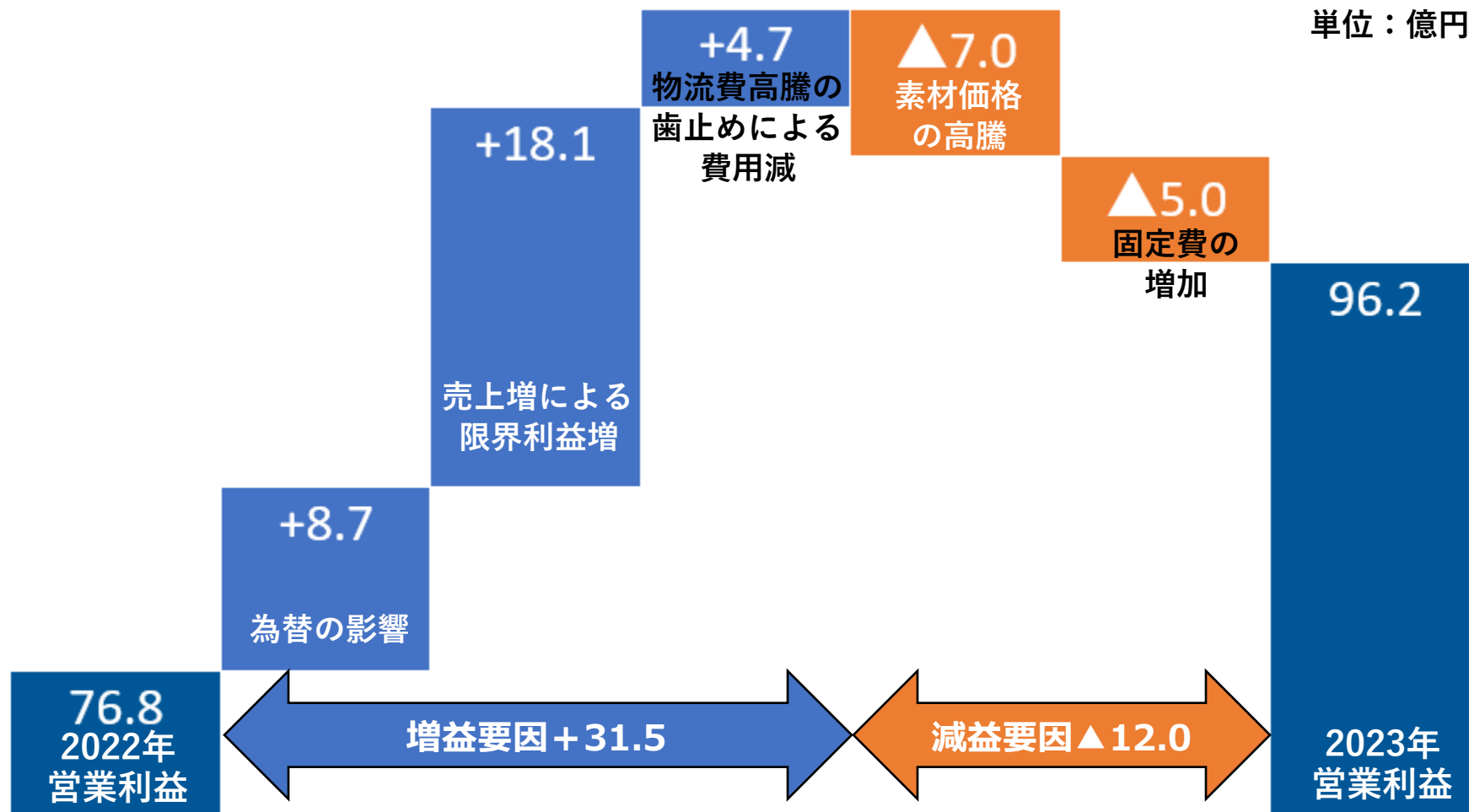
○為替影響（前年比）
 売上高：+26.3億円
 営業利益：+8.7億円

○営業利益の為替感応度
 1円：0.96億円/年

USD/円	131.64円	140円	140.67円
ユーロ	138.15円	150円	152.11円
元	19.50円	20円	19.82円

1-2.2023年12月期業績概要

【営業利益増減要因】



1-3.2023年12月期業績概要

【地域別セグメント】

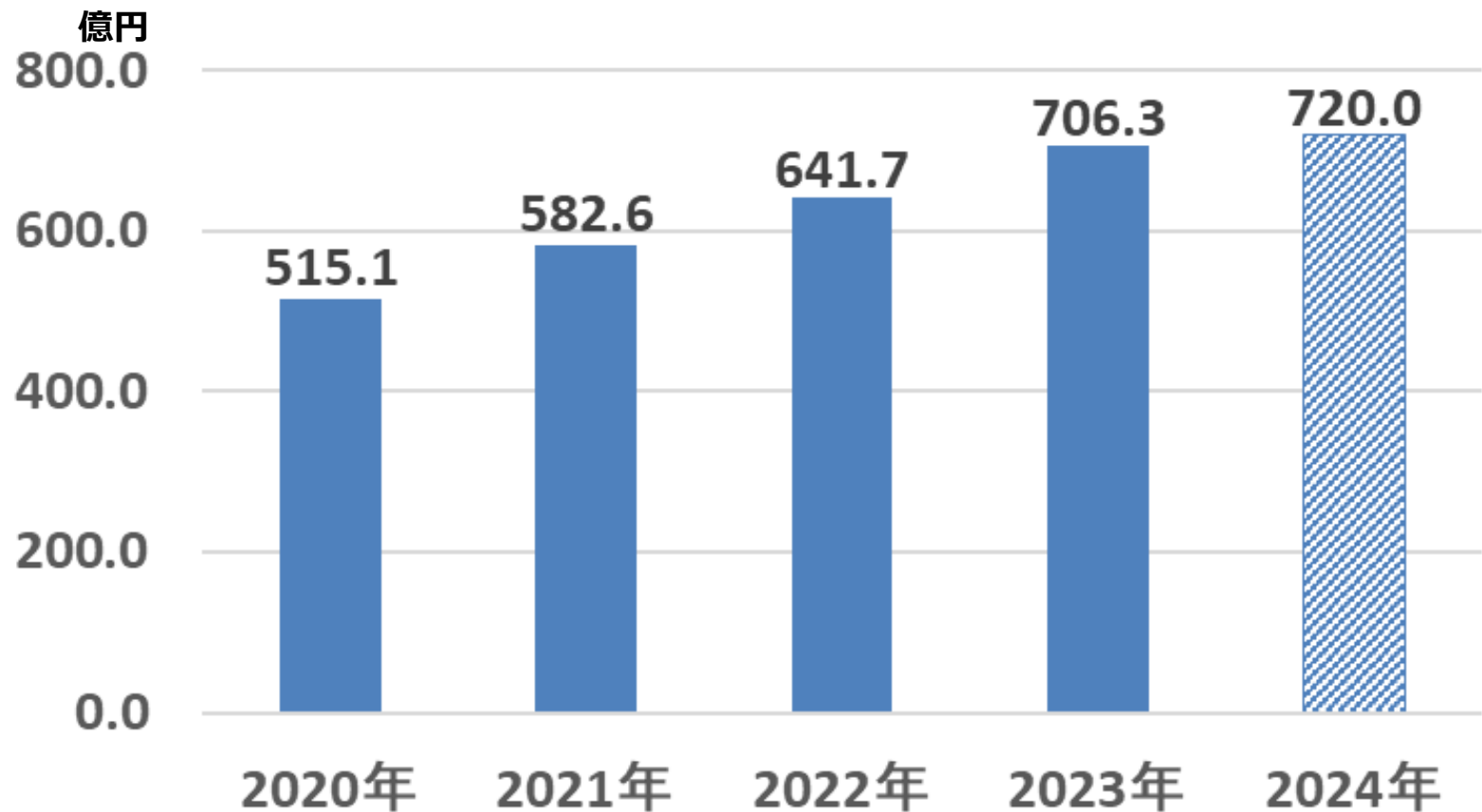
		2022年度 実績	2023年度	
			実績	前年比
(百万円)				
全社	売上高	64,172	70,631	+ 10.1%
	営業利益	7,678	9,620	+ 25.3%
日本	売上高	32,487	35,159	+ 8.2%
	営業利益	2,708	3,452	+ 27.5%
北米	売上高	10,673	13,551	+ 27.0%
	営業利益	326	1,216	+ 273.0%
中国	売上高	13,401	12,636	- 5.7%
	営業利益	1,840	1,564	- 15.0%
アジア	売上高	19,952	22,892	+ 14.7%
	営業利益	3,169	3,461	+ 9.2%
欧州	売上高	4,720	6,318	+ 33.9%
	営業利益	△ 290	89	- %

Ⅱ. 2024年12月期業績予想

2-1.2024年12月期業績予想

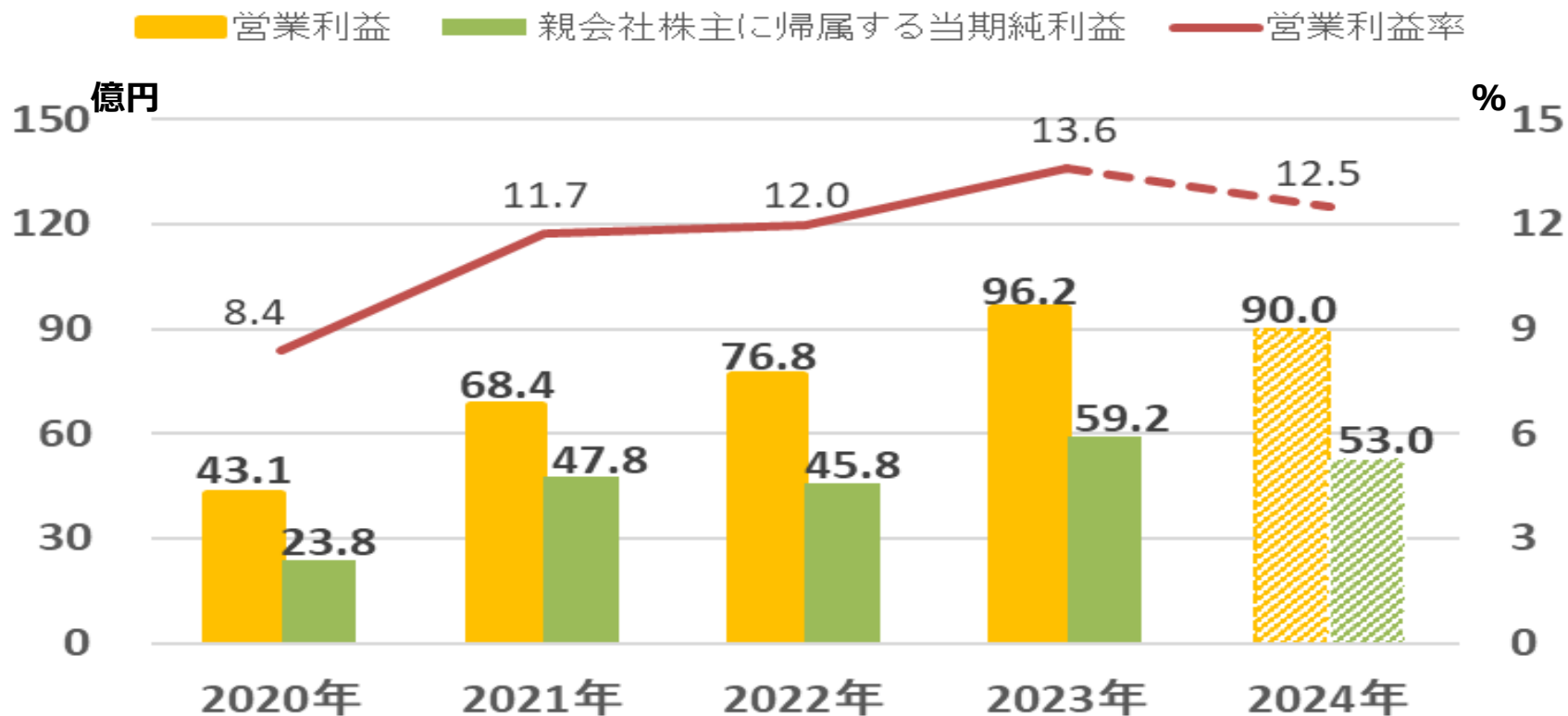
【売上高】

業績予想の前提となる為替レート：1US\$=140円



2-2.2024年12月期業績予想

【利益】



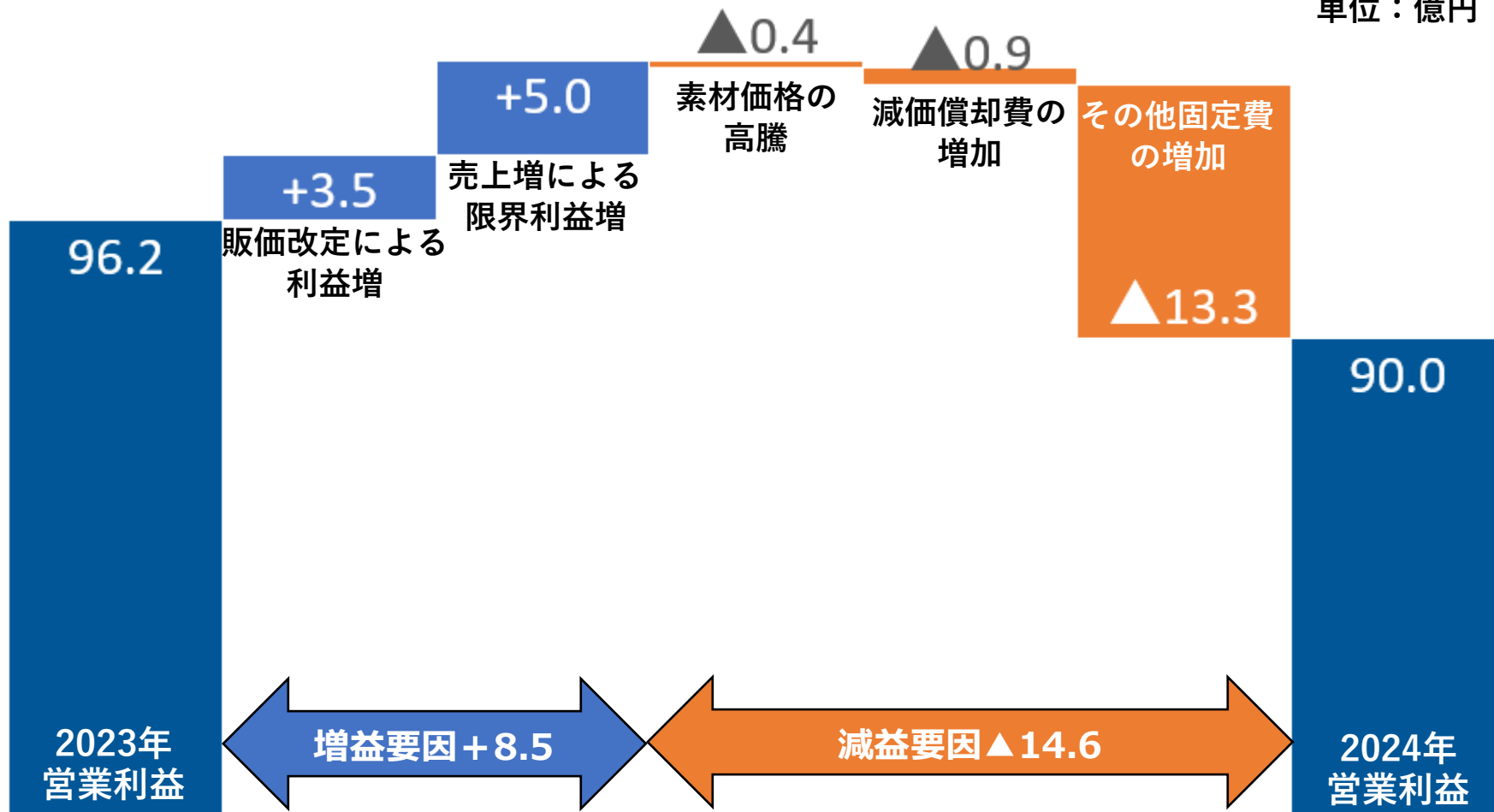
EBITDA	65.2	91.3	102.5	122.8	117.6
--------	------	------	-------	-------	-------

※営業利益ベース

2-3.2024年12月期業績予想

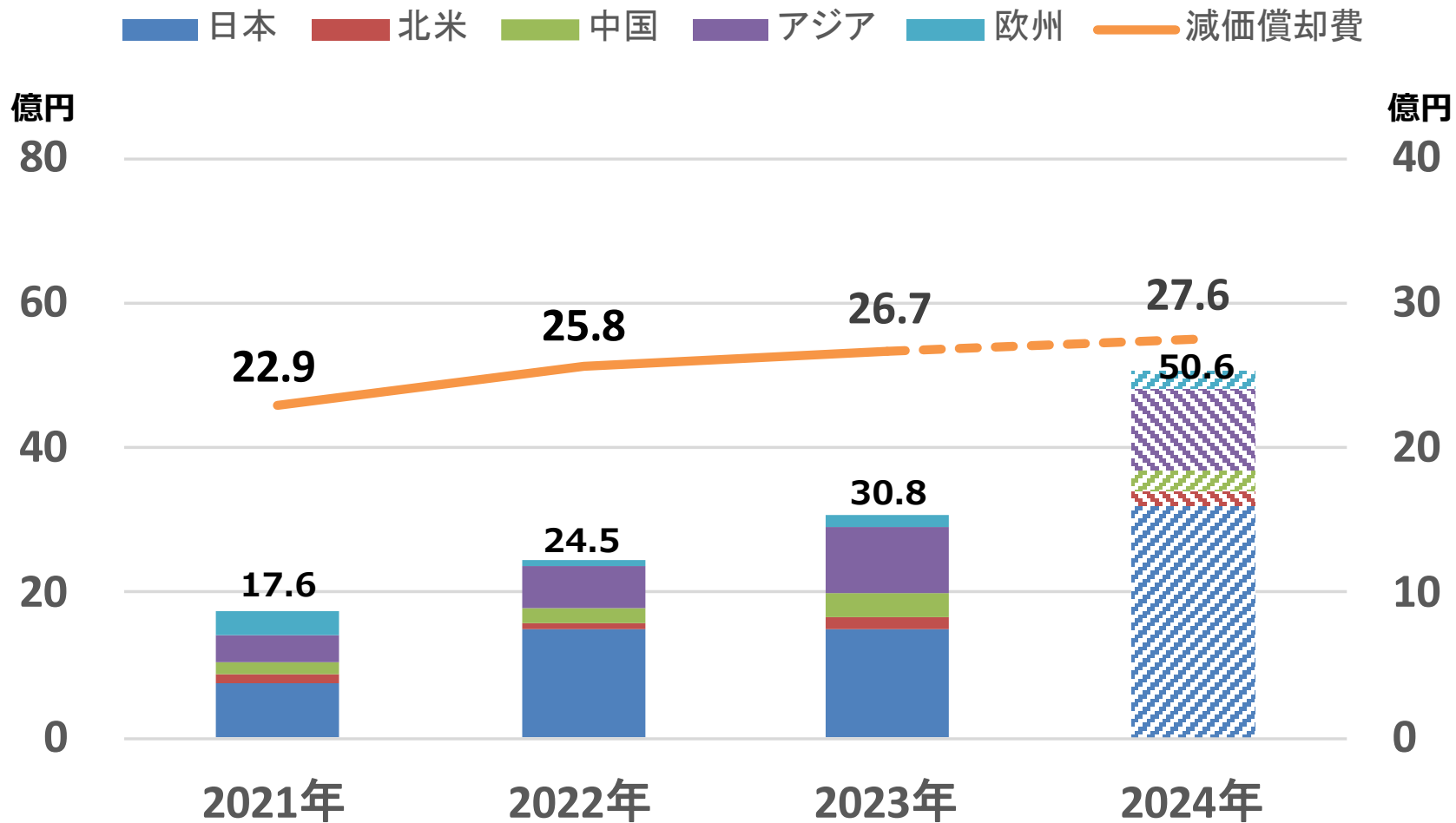
【営業利益増減要因】

単位：億円

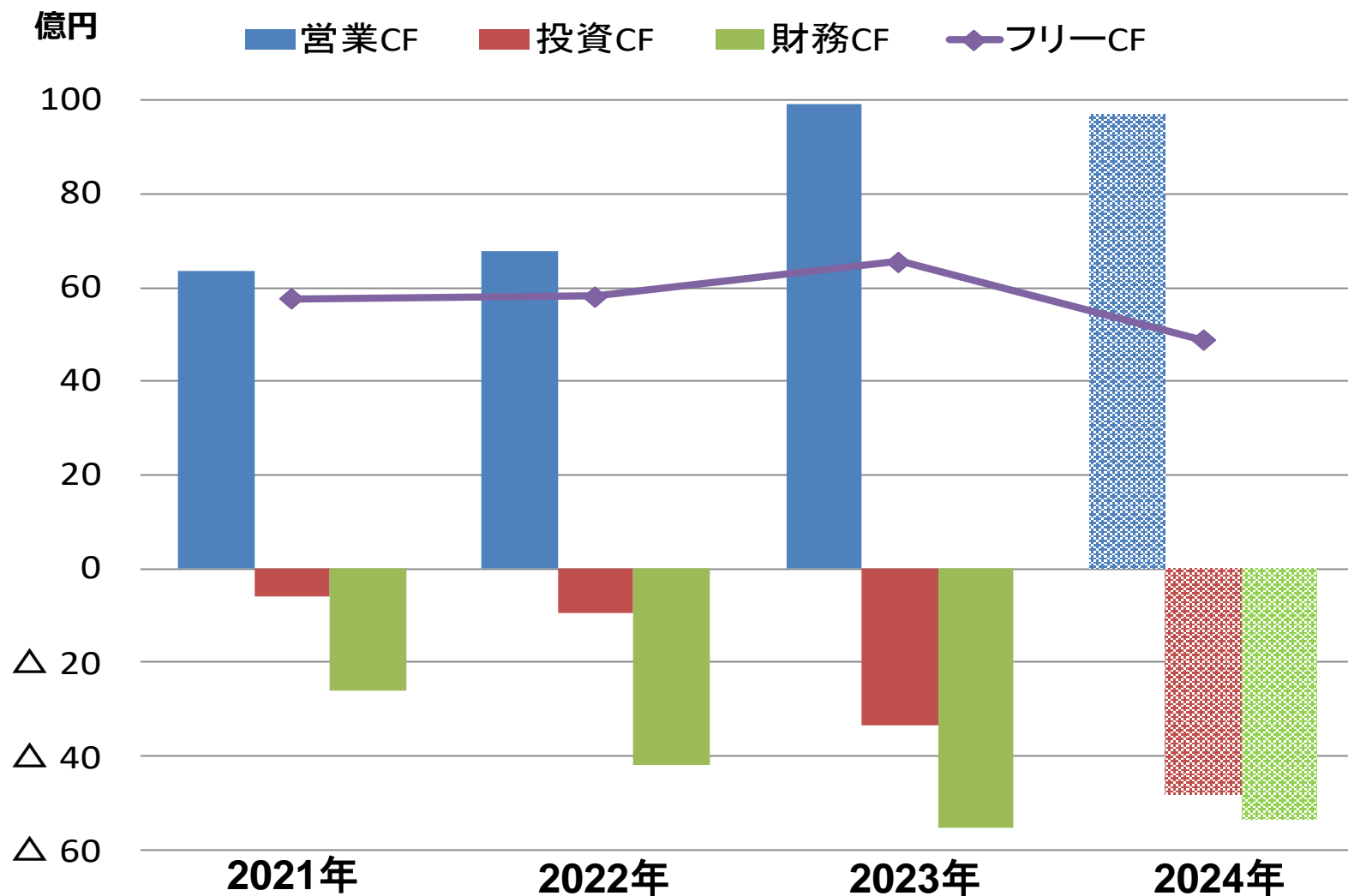


Ⅲ. 設備投資、キャッシュフロー、株主還元

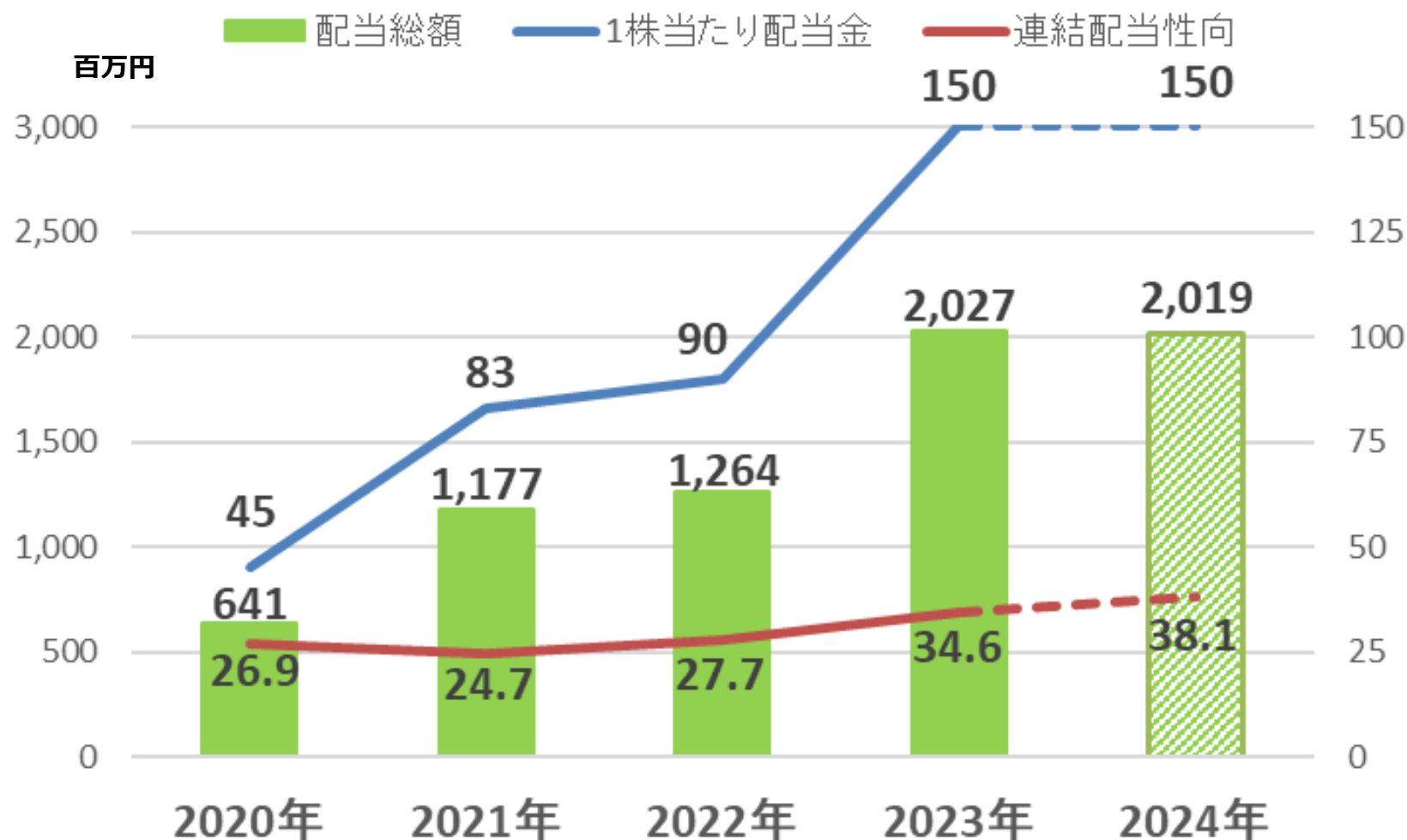
3.2024年設備投資計画



4.2024年キャッシュフロー予想

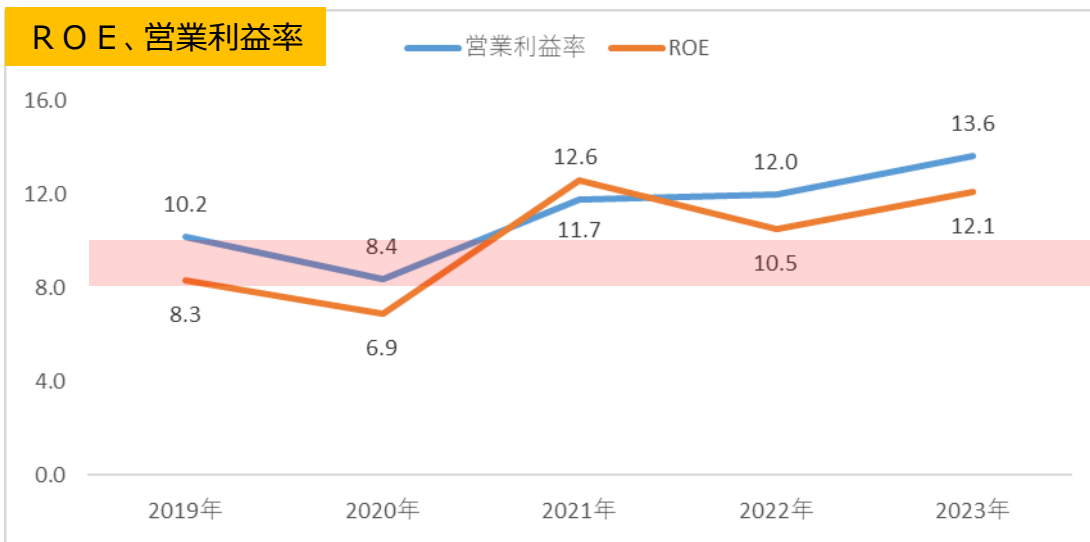
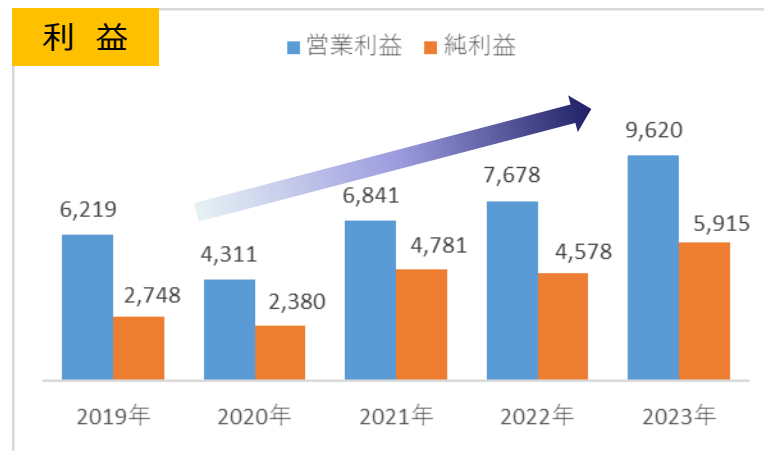
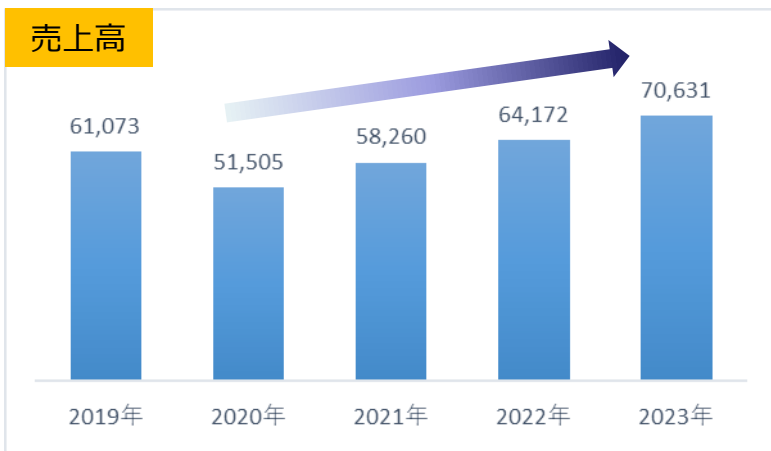


5.配当の状況



IV. 資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

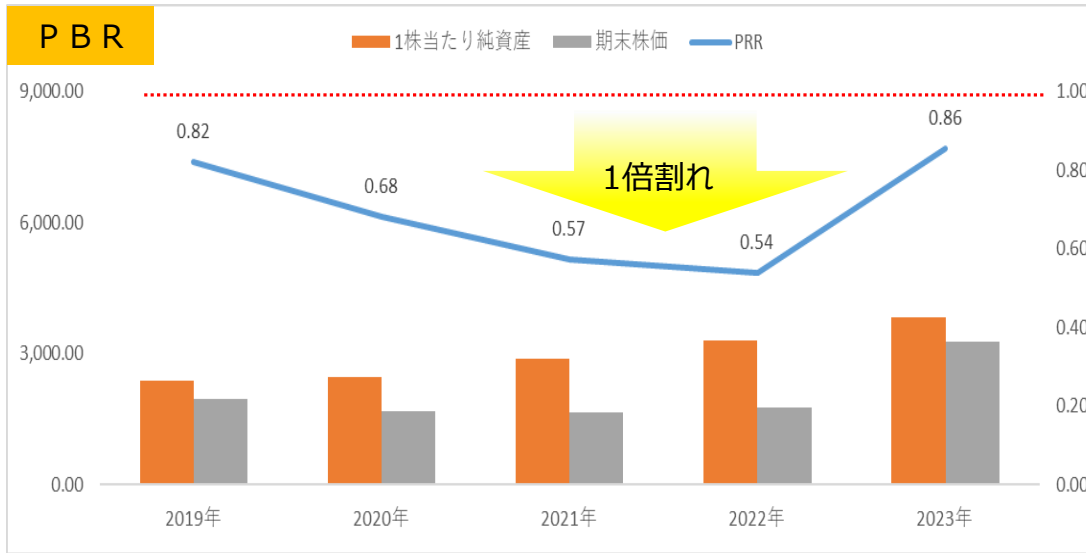
1-1.現状分析



資本コストは8~10と算定 (CAPM)

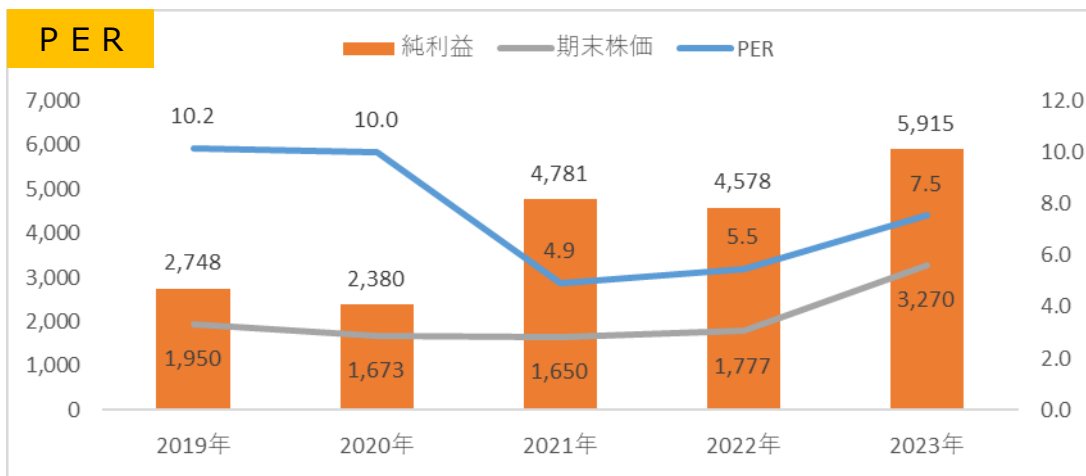
過去5年間の資本効率
 ROEは想定する資本コストを概ね上回っており、
 効率的な経営を継続的に行っていると判断。

1-2.現状分析



P B Rは、最近5年間継続的に1倍を下回っているが、2023年は、業績の向上や増配・自己株式の取得等の資本政策により、急速に改善。

最近5年間のP E Rは、業績と相関しておらず、業績だけでは、向上させることはできない。



【分析結果】

資本効率、経営指標は比較的高い水準ではあるが、それが株価に反映されていない状況が継続している。



当社グループの成長性に関して株主や投資家のみなさまからの理解を十分に得られていない。⇒将来期待値が低い。

2.改善に向けた方針

現状の評価を踏まえ、当社は、株主や投資家のみなさまから当社の成長性を適切に評価していただくことを基本的な方針とします。

- R O E 10.0%以上を維持するための施策
- キャッシュフローの開示などによる成長戦略の具体化
- 機動的な資本政策の継続



P B R 1 倍を上回る水準とすることを目標

3-1.改善に向けた具体的取組み

【1.収益力の向上(1/2)】

EV化に適応した製品開発と拡販

EV用エアコン配管、曲管ゴムホース
ヒートポンプシステム用配管
樹脂とアルミの接合技術



+16億円/年

EVメーカーへの販売拡大 (2024年販売計画)

グループ連携による事業領域の拡大

グローバルでの調達・生産・販売体制構築



+12億円/年

欧米のプレミアム2輪メーカー (2024年販売計画)
ハーレーダビッドソン、BMWへの納入開始

SDGsに配慮した省エネ設備の導入

- ホース製造の新工法導入
- 新規加硫工法の導入
- 太陽光発電など再生可能エネルギーの利用拡大



△0.63億円/年

電力使用料の大幅削減 (2023年実績削減額)

人的資本経営の推進と多様な人材活用

- 優れたスキルを有した在外国人材の採用強化
- 異文化コミュニケーション促進
- グループ人材育成方針に基づく更なる人材育成強化



17%

親会社主要部門における
外国人比率の向上 (2023年実績)

3-1.改善に向けた具体的取組み

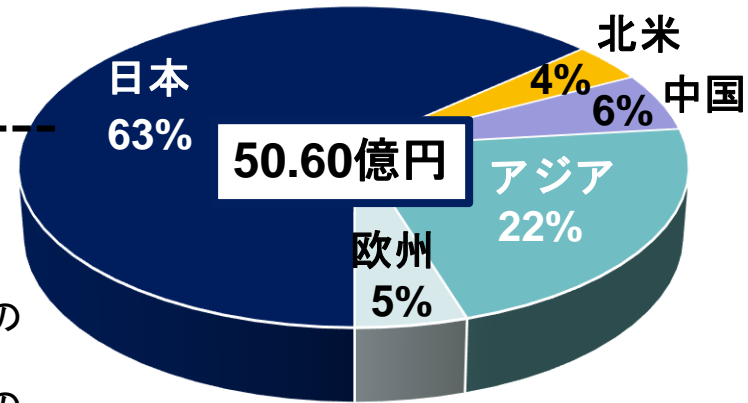
【1.収益力の向上(2/2)】

成長戦略としての積極的な設備投資



うち、NICHIRIN WORKSHOP
 建設関連 10.12億円

姫路工場での活用のみならず、
 世界11拠点の担当者のハブとして
 シームレスに技術を導入するための
 モノ造り道場としての役割を担い、
 拠点間で競いながらグループ全体の
 生産技術力の向上に取り組めます。

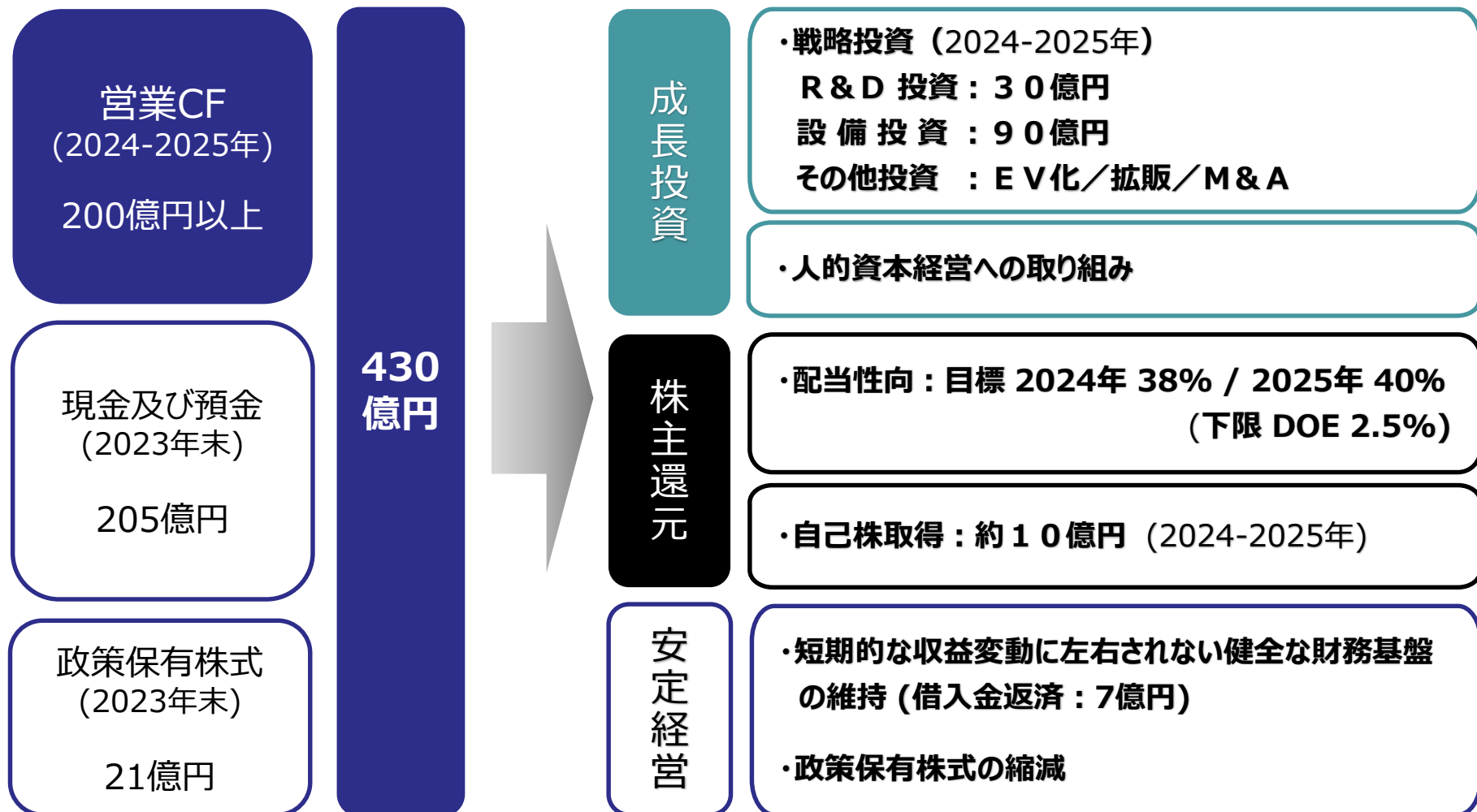


2024年計画



3-2.改善に向けた具体的取組み

【キャッシュ・アロケーション】 財務戦略・資本政策の強化



3-3.改善に向けた具体的取組み

【I R活動の充実】

当社の事業モデルや成長戦略をより具体化して投資家と共有

ホームページでの財務情報、非財務情報の情報発信の充実
サステナビリティ（人的資本、気候変動等）

決算説明資料の内容充実（投資家が必要とする情報の追記）

成長戦略の具体的内容の提示

I R対応人材の育成

おことわり

本資料をご参照になるにあたっては以下の点につきご注意ください。

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社独自の判断に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。

従いまして、記載された将来の予想数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。